

# 木曾町における観光客の動向に関する調査・研究(I)

鈴木 尚通・葛西 和廣・田中 正敏・  
成 蒼政・佐藤 進

## Study on Activities of Visitors to Kiso District Based on a Survey in 2010

SUZUKI Naomichi, KASAI Kazuhiro, TANAKA Masatoshi,

SUNG Kijung and SATO Susumu

### 要 旨

2010年度の調査では、前年同様、木曾福島地区、開田高原、日義木曾駒高原道の駅の3調査地点で、観光客に対し木曾地域の魅力を探るためにアンケート調査を行った。昨年度までの調査項目「木曾地域でお気に入りの場所」を「今回の旅行で訪れた、または訪れようとしている場所」に変更し、旅行の目的地がよりはっきりするようにした。また、食に関する質問をいくつか入れ、食の面でどんな魅力があるかを探ることをも目指した。

### キーワード

木曾 自然の風景と食 宿場町

### 目 次

1. 序
  2. 調査結果の分析
    - 2-1 来訪者の年齢層
    - 2-2 旅行日程
    - 2-3 現在地における滞留予定時間と旅行相手
    - 2-4 主な交通手段と権兵衛トンネルの利用度
    - 2-5 現在地への来訪回数と来訪目的
    - 2-6 今回の旅行で訪れた、または訪れる予定の場所
    - 2-7 情報収集の方法と求める地域情報
    - 2-8 旅行予算とお土産代
    - 2-9 お土産として購入したものと探しているもの
    - 2-10 おいしかったもの
    - 2-11 木曾路の印象
  3. 結
- 付録. 2010年度アンケート票

## 1. 序

木曾町における観光客に対するアンケート調査は10月に調査を行うようになってから今回(2010年)で3回目になる。調査活動は10月24日(日)の11時頃から15時頃まで、前回と同様に木曾福島地区(山村代官屋敷、足湯、上の段の街並み)、開田高原アイスクリーム工房前、及び日義木曾駒高原道の駅で行った。当日の天候は曇り時々小雨で、15時頃には雨が強くなってきたので、調査を終了した。調査時間帯の気温は木曾福島地区では14℃～16℃、開田高原では13℃～14℃であった。

アンケートに答えてくださった方は、木曾福島地区では31人(足湯13人、上の段の街並み8人、代官屋敷10人)、開田高原では107人、日義木曾駒高原道の駅では101人、合計239人であった。その性別は男性138人(57.7%)、女性91人(38.1%)、未記入10人(4.2%)であった。来訪者の居住県は、長野県76人、愛知県65人、岐阜県15人、静岡県15人、その他(都道府県)65人、未記入3人であった。

長野県からの来訪者76人の中で、居住市町村名を記入された方は、松本市17人、塩尻市6人、飯田市4人、伊那市4人、諏訪市3人、大桑村2人、天龍村2人、長野市2人、上松町1人、安曇野市1人、飯島町1人、上田市1人、大町市1人、木曾町1人、駒ヶ根市1人、下諏訪町1人、須坂市1人、辰野町1人の合計50人であった。その他都道府県は65人中64人の方が居住都道府県を記入されていて、その内訳は、東京都15人、大阪府8人、兵庫県6人、神奈川県4人、埼玉県4人、福島県4人、三重県3人、山口県3人、山梨県3人、石川県2人、茨城県2人、京都府2人、富山県2人、奈良県2人、福井県2人、群馬県1人、栃木県1人であった。

以下では239票の回答を、居住地が未記入の3票を除き、長野県内(76人)、長野県近隣の3県(愛知県65人、静岡県15人、岐阜県15人、合計95人)とその他都道府県(65人)に分けて集計した結果を主として報告する。

## 2. 調査結果の分析

来訪者の性別は、長野県では計76人の中で、男性50人(65.8%)、女性23人(30.3%)、未記入3人(3.9%)、愛知他2県では95人中、男性54人(56.8%)、女性36人(37.9%)、未記入5人(5.3%)、その他都道府県65人の内訳は男性33人(50.8%)、女性30人(46.2%)、未記入2人(3.1%)であった。

### 2-1 来訪者の年齢層

図1に年齢層別の集計結果を示す。来訪者の最も多い年齢層は、長野県では40歳代が23.7%(18人)、愛知他2県では50歳代が23.2%(22人)、その他(都道府県)では50歳代と60歳代がともに21.5%(14人)であった。50歳以上の来訪者を比較すると、長野県51.3%(39人)、愛知他2県52.6%(50人)、その他都道府県52.3%(34人)と、どの居住地域でも同じような比率となっている。一方、30歳代以下(40歳未満)では、長野県23.6%(18人)、愛知他2県29.5%(28人)、その他都道府県30.8%(20人)と長野県外からの来訪者の比率が若干高くなっている。

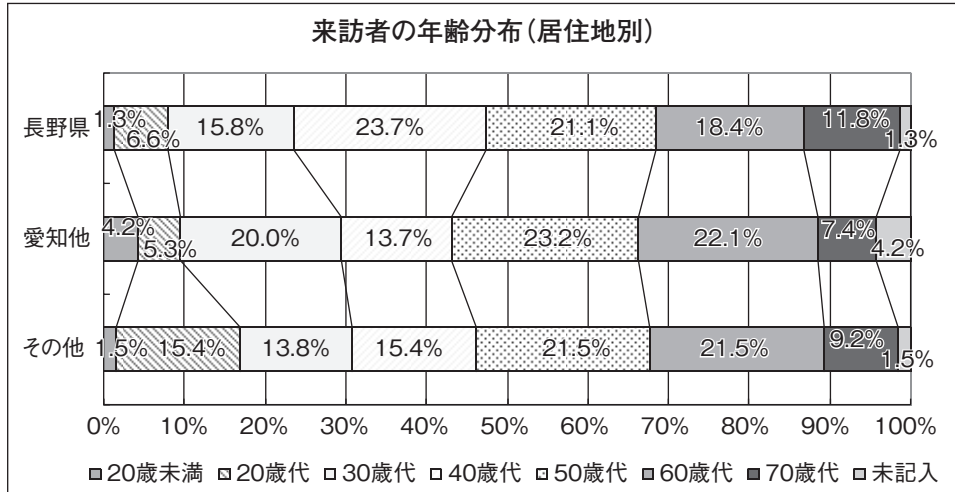


図1. 来訪者の年齢層

## 2-2 旅行日程

来訪者の旅行日程を図2に示す。長野県からの来訪者は、日帰り93.4%(71人)、1泊2日5.3%(4人)、2泊3日1.3%(1人)であった。

愛知県2県は、日帰り60.0%(57人)、1泊2日32.6%(31人)、2泊3日2.1%(2人)、3泊4日3.2%(3人)、4泊5日1.1%(1人)と、宿泊を伴う人は40.0%(38人)であった。

その他都道府県からは、日帰り30.8%(20人)、1泊2日47.7%(31人)、2泊3日16.9%(11人)、4泊5日が1.5%(1人)と、宿泊を伴う人は66.2%(43人)、2泊3日以上の方は18.5%(12人)を占めている。

長野県から居住地域が遠くなるにつれて宿泊をする比率が高くなっている。

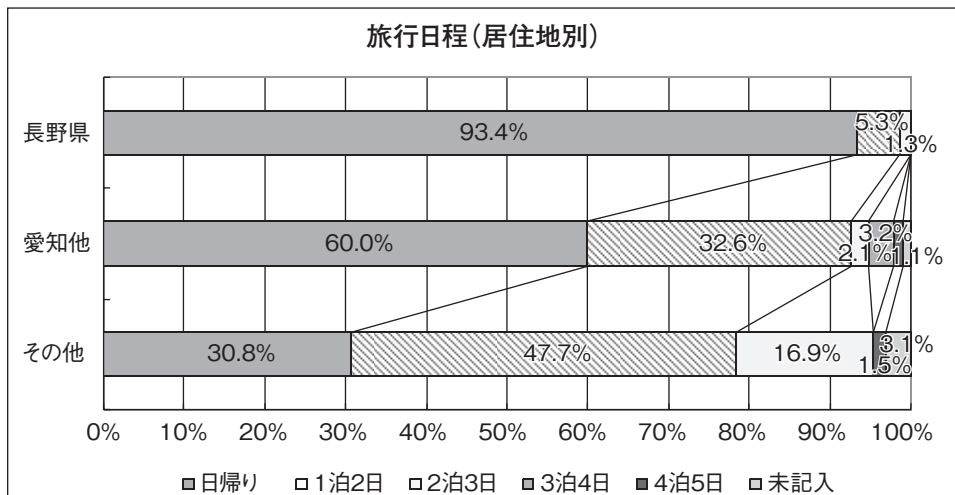


図2. 来訪者の旅行日程

長野県の方で、主な立ち寄り先を記入された方は4人で、その一覧を表1aに示す。表中の丸印(○)は調査当日の主な立ち寄り先を表す。

日程	年齢層	1日目	2日目	旅行相手	交通手段
日帰り	50歳代	代官屋敷, 興禅寺		家族(大人のみ)	マイカー
日帰り	70歳代	木曾		友人知人	マイカー
1泊2日	30歳代	○木曾		カップル	マイカー
1泊2日	20歳代	乗鞍高原, 高山	○木曾	カップル	マイカー

表1 a. 長野県からの来訪者の主な立ち寄り先

愛知他2県で主な立ち寄り先を記入された方は29人であった。表1bにその一覧を示す。

日程	年齢層	1日目	2日目	3日目	旅行相手	交通手段
日帰り	60歳代	伊那, 高山			友人知人	マイカー
日帰り	50歳代	御岳			夫婦	マイカー
日帰り	30歳代	中津川, 木曾, 開田			友人知人	マイカー
日帰り	40歳代	八ヶ岳			夫婦	マイカー
1泊2日	50歳代	安曇野	妻籠		夫婦	マイカー
1泊2日	50歳代	王滝, 開田	○御嶽山, 開田, 田の原		夫婦	マイカー
1泊2日	50歳代	王滝村	○開田高原		友人知人	マイカー
1泊2日	30歳代	御岳	○木曾福島		カップル	鉄道(JR)
1泊2日	40歳代	御岳	木曾福島		カップル	鉄道(JR)
1泊2日	70歳代	御岳ロープウェイ	諏訪湖	開田高原	夫婦	マイカー
1泊2日	30歳代	開田高原別荘			家族(大人のみ)	マイカー
1泊2日	70歳代	上高地	乗鞍		友人知人	マイカー
1泊2日	60歳代	木曾駒	味噌川ダム		友人知人	マイカー
1泊2日	40歳代	木曾駒高原	○開田高原		家族(子連れ)	マイカー
1泊2日	60歳代	木曾福島町	○伊那市		夫婦	マイカー
1泊2日	30歳代	黒部ダム	野麦峠		友人知人	マイカー
1泊2日	50歳代	駒ヶ根	○開田		夫婦	マイカー
1泊2日	30歳代	駒の湯温泉, 王滝村	開田高原, 御岳ロープウェイ		家族(子連れ)	マイカー
1泊2日	50歳代	新湯			夫婦	マイカー
1泊2日	50歳代	高山	○開田		夫婦	マイカー
1泊2日	60歳代	中房温泉	木曾		夫婦	マイカー
1泊2日	60歳代	奈良井宿, アイスクリーム工房			友人知人	マイカー
1泊2日	20歳代	道の駅	柿ぞれ方面		家族(大人のみ)	マイカー
1泊2日	50歳代	やまゆり荘	やまゆり荘		夫婦	マイカー
1泊2日	30歳代		御嶽山		カップル	マイカー
2泊3日	60歳代	木曾駒高原	木曾駒高原		家族(大人のみ)	マイカー
2泊3日	30歳代	鈴蘭高原	○開田高原	高山	夫婦	マイカー
3泊4日	50歳代	木曾福島			家族(大人のみ)	マイカー
4泊5日以上	60歳代	草津	那須, (3泊目)大内宿, (4泊目)小布施		夫婦	マイカー

表1 b. 愛知他2県からの来訪者の主な立ち寄り先

その他都道府県で主な立ち寄り先を記入して下さった23人の日程を表1cに示す。

日程	年齢層	1日目	2日目	3日目	旅行相手	交通手段
日帰り	60歳代	御嶽山			友人知人	マイカー
日帰り	40歳代	蕎麦			家族(子連れ)	マイカー
日帰り	30歳代	中津川, 波田			家族(子連れ)	自転車
1泊2日	20歳代	赤沢	○木曾		友人知人	レンタカー
1泊2日	20歳代	赤沢自然休養林	○寢覚の床		友人知人	レンタカー
1泊2日	20歳代	赤沢自然休養林	寢覚の床		友人知人	レンタカー
1泊2日	30歳代	御嶽山	木曾福島		ツアー団体	バイク
1泊2日	50歳代	開田高原	○奈良井宿		友人知人	マイカー
1泊2日	60歳代	木曾福島	赤沢森林公園		ツアー団体	観光バス
1泊2日	50歳代	木曾福島周辺	開田高原, 御嶽山		家族(子連れ)	鉄道(JR)
1泊2日	60歳代	新平湯	木曾		夫婦	マイカー
1泊2日	40歳代	野麦峠	木曾		単独	バイク
1泊2日	40歳代	ビーナスライン	○開田高原		友人知人	バイク
1泊2日	60歳代	馬籠			友人知人	バイク
2泊3日	50歳代	王滝村	王滝村, 御岳山	○開田高原	家族(子連れ)	マイカー
2泊3日	50歳代	上高地	奈川	○木曾	職場団体	マイカー
2泊3日	50歳代	河口湖	蓼科		夫婦	マイカー
2泊3日	20歳代	車で移動	ゴルフと蕎麦	○やまゆり荘, 開田高原	友人知人	マイカー
2泊3日	20歳代	車で移動	ゴルフ	○やまゆり荘	友人知人	マイカー
2泊3日	20歳代	ゴルフ	やまゆり荘		友人知人	マイカー
2泊3日	20歳代		○マイアスキー場, 開田高原		友人知人	マイカー
2泊3日	20歳代		マイアスキー場, 開田高原		友人知人	マイカー
4泊5日	60歳代	乗鞍高原	甲府		単独	マイカー

表1c. その他都道府県からの来訪者の主な立ち寄り先

### 2-3 現在地における滞留予定時間と旅行相手

来訪者の調査地点付近(木曾福島地区, 開田高原または日義木曾駒高原道の駅)における滞留(予定)時間を図3に示す。滞留時間が1時間未満の人は, 長野県52.6%(40人), 愛知他2県51.5%(49人), その他都道府県43.1%(28人)であった。

2時間以上現地で過ごされる方は, 長野県21.1%(16人), 愛知他2県29.5%(28人), その他都道府県29.2%(19人)であり, 長野県外からの来訪者の方が県内からの来訪者よりも滞留時間が多少長くなっているようだ。

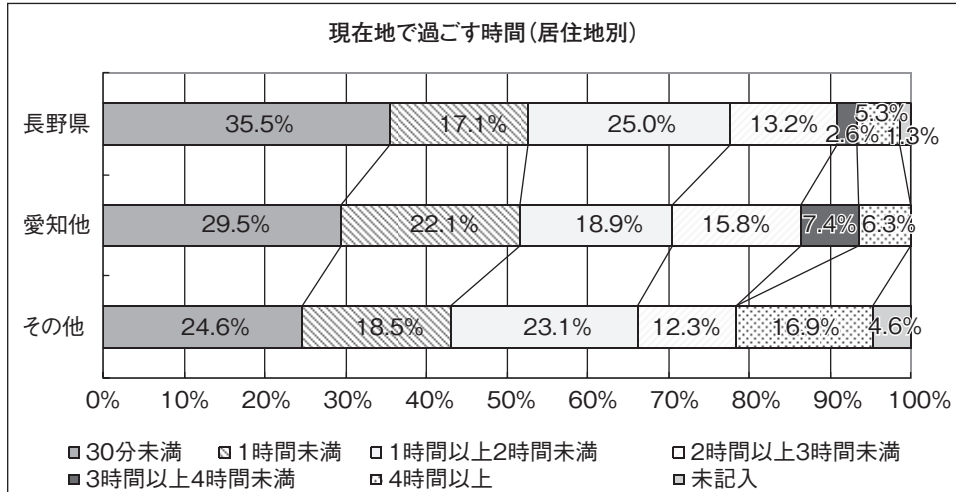


図3. 来訪者の滞留時間

旅行相手を単純集計した結果は全239人の内、友人知人22.2% (53人)、家族(子連れ)21.8% (52人)、夫婦21.3% (51人)、家族(大人のみ)18.4% (44人)の順であった。

旅行相手を居住地別に集計した結果を図4に示す。長野県内からの来訪者の旅行相手は、家族(大人のみ)26.3% (20人)、家族(子連れ)21.1% (16人)、夫婦17.1% (13人)の順となっている。愛知他2県からの来訪者の旅行相手は、夫婦28.4% (27人)、家族(子連れ)26.3% (25人)、家族(大人のみ)18.9% (18人)、友人知人16.8% (16人)の順で、その他都道府県からの来訪者は友人知人41.5% (27人)、夫婦と家族(子連れ)がいずれも16.9% (11人)の順となっている。

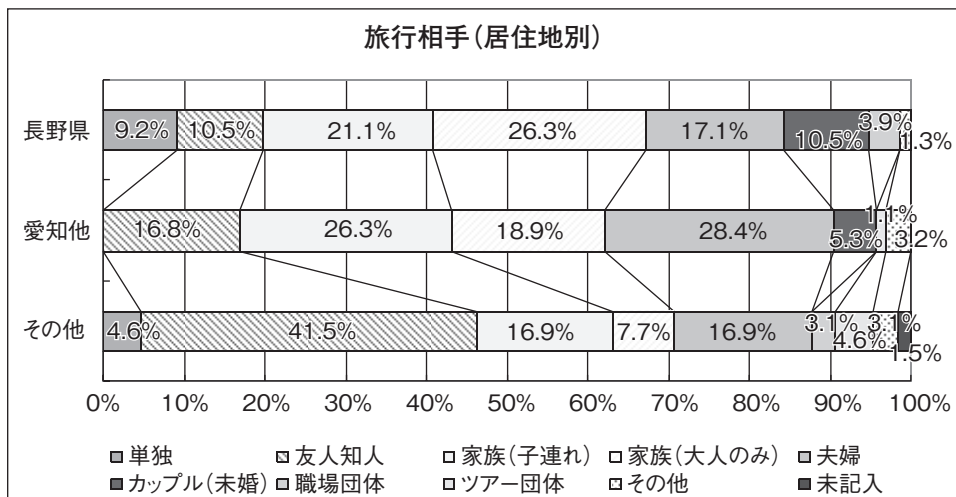


図4. 来訪者の旅行相手

#### 2-4 主な交通手段と権兵衛トンネルの利用度

来訪者の主な交通手段を図5に示す。長野県内からは、マイカー 86.8% (66人)、バイク6.6% (5人)、観光バス3.9% (3人)の順であった。愛知他2県からは、マイカー 93.7% (89人)、鉄道(JR)3.2% (3人)、バイク2.1% (2人)、その他都道府県からは、マイカー 60.0% (39人)、バイク15.4% (10人)、観光バス10.8% (7人)、その他7.7% (5人、いずれもレンタカー)、鉄道(JR) 4.6% (3人)の順であった。

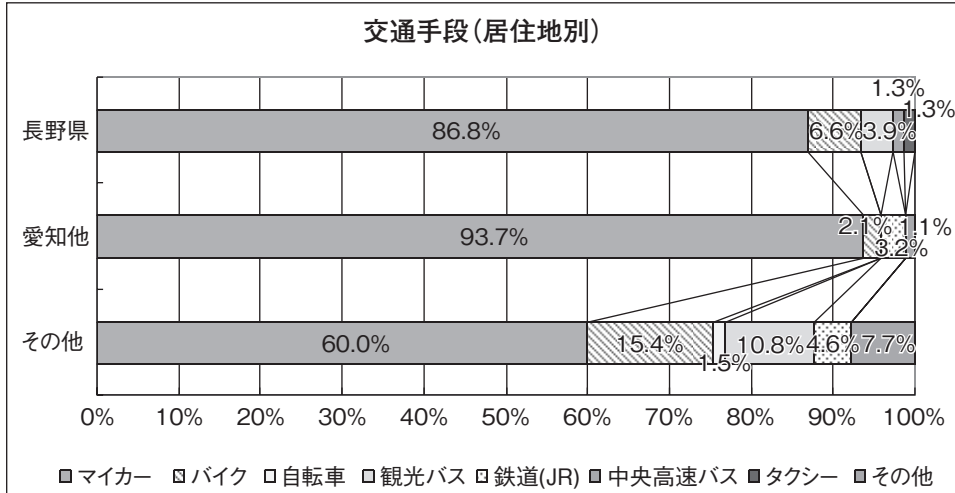


図5. 来訪者の主な交通手段

伊那谷と木曾谷を結ぶ権兵衛トンネルを往路に通ってきた人は、長野県の32.9% (25人)、愛知他2県の26.3% (25人)、その他都道府県の44.6% (29人)であった(図6参照)。

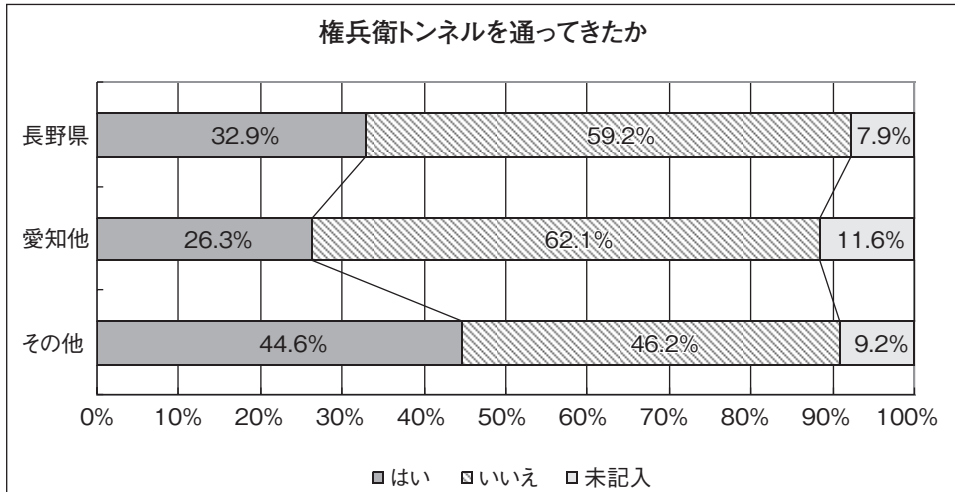


図6. 権兵衛トンネルを通ってきたか

権兵衛トンネルを帰路に通る予定の人は、長野県18.4% (14人)、愛知他2県22.1% (21人)、その他33.8% (22人)(図7参照)となっている。

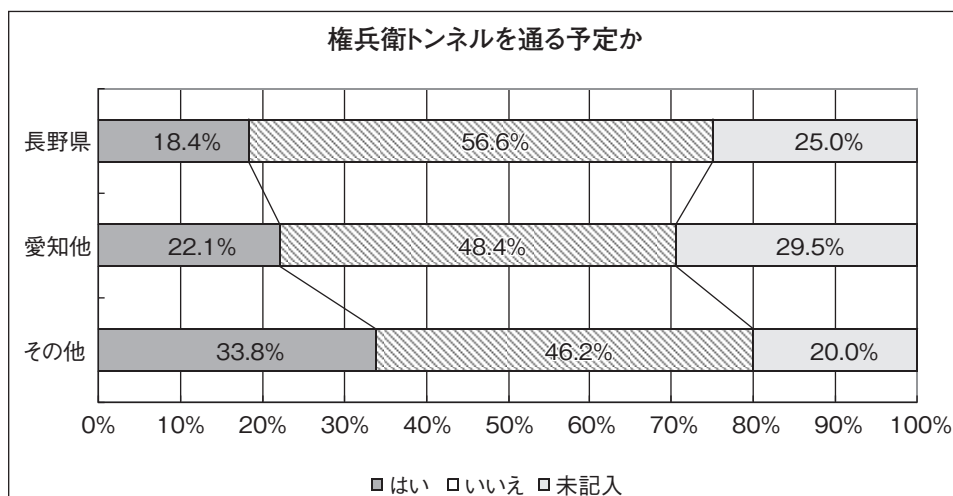


図7. 権兵衛トンネルを通る予定か

権兵衛トンネルの利用度をより詳細に見るために、居住地別に集計した結果を表2a、表2b、表2cに示す。①は往路に対する回答、②は復路に対する回答を表す。例えば、表2aの上から2行目は、権兵衛トンネルを通過してきた長野県からの来訪者(25人)のうち9人は帰りにも権兵衛トンネルを通る、13人は通らないと答え、他の3人は無回答であったことを示す。3行目は権兵衛トンネルを通らなかった人(45人)のうち3人は帰りに権兵衛トンネルを通る、40人は通らないと答え、2人は無回答であったことを示す。4行目は行きは無回答だった人(6人)が、帰りは権兵衛トンネルを通ると答えた人が2人、帰りも無回答だった人が4人いることを示す。

	②通る	②通らない	②無回答	計
①通った	9	13	3	25
①通らなかった	3	40	2	45
①無回答	2	0	4	6
計	14	53	9	76

表2a. 長野県からの来訪者の権兵衛トンネルの利用度

	②通る	②通らない	②無回答	計
①通った	4	5	16	25
①通らなかった	12	41	6	59
①無回答	5	0	6	11
計	21	46	28	95

表2b. 愛知県2県からの来訪者の権兵衛トンネルの利用度

	②通る	②通らない	②無回答	計
①通った	16	5	8	29
①通らなかった	5	25	0	30
①無回答	1	0	5	6
計	22	30	13	65

表2c. その他都道府県からの来訪者の権兵衛トンネルの利用度



## 2-5 現在地への来訪数と来訪目的

現在地(木曾福島地区、開田高原、または日義木曾駒高原道の駅)への来訪回数を図8に示す。長野県内からの来訪者は、10回以上38.2%(29人)、3~5回27.6%(21人)、はじめて19.7%(15人)、2回目7.9%(6人)の順となっている。6回以上のリピーターが44.7%(34人)、2回以下が27.6%(21人)であった。

愛知他2県からの来訪者は、10回以上が37.9%(36人)、3~5回22.1%(21人)、2回目17.9%(17人)、はじめて12.6%(12人)の順であった。6回以上のリピーターが46.3%(44人)、2回以下が30.5%(29人)を占めている。

その他都道府県からの来訪者は、はじめて35.4%(23人)が最も多く、3~5回が21.5%(14人)、2回目20.0%(13人)、6~9回10.8%(7人)がそれに続いている。2回以下が55.4%(36人)、6回以上のリピーターは20.0%(13人)を占めている。2回以下の来訪者の比率は、その他都道府県が最も高くなっている。

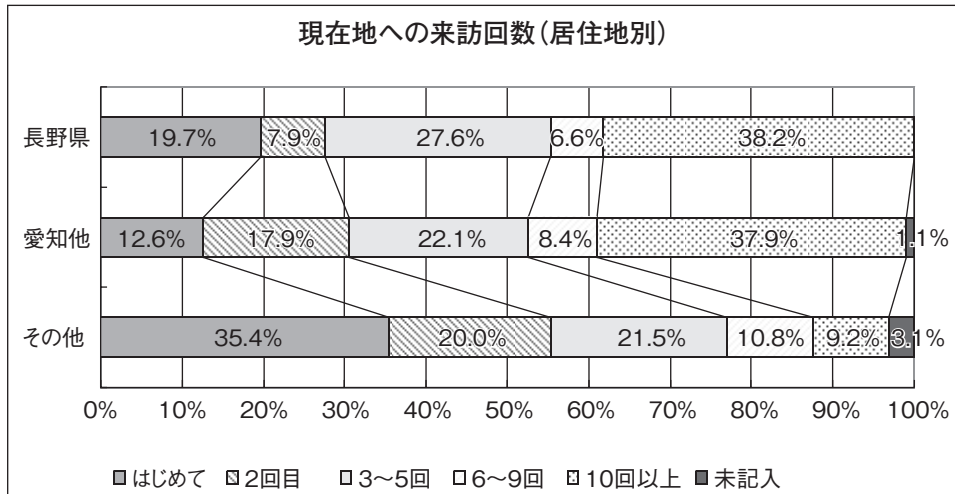


図8. 木曾町への来訪回数

現在地(木曾福島地区、開田高原または日義・木曾駒高原道の駅)を訪れた目的(3つまで選択)は、単純集計では、紅葉狩り(84人、35.1%)、自然の風景(79人、33.1%)、ドライブ(75人、31.4%)、温泉(含足湯)(58人、24.3%)、飲食(48人、20.1%)、その他(41人、17.2%)、産地直売品・お土産(30人、12.6%)の順であった。

居住地域別(図9参照)を見ると、長野県からの来訪者の目的は、紅葉狩り32.9%(25人)、ドライブ31.6%(24人)、飲食23.7%(18人)、自然の風景21.1%(16人)、温泉(含足湯)19.7%(15人)、その他14.5%(11人)、産地直売品・お土産13.2%(10人)、木曾馬の里6.6%(5人)の順であった。その他に対する記述(12人)は、蕎麦(とうじ蕎麦1人を含む)10人、アイス1人、五平餅1人であった。

愛知他2県は、紅葉狩り42.1%(40人)、自然の風景37.9%(36人)、ドライブ36.8%(35人)、温泉(含足湯)21.1%(20人)、飲食17.9%(17人)、産地直売品・お土産13.7%(13人)の順であった。その他12.6%(12人)に対する記述(10人)は、登山2人、別荘2人、掃除1人、りんご狩り

1人、道の駅1人、街並み1人、ゴルフ1人、私用1人であった。

その他都府県は、自然の風景40.0% (26人)、温泉(含足湯) 33.8% (22人)、紅葉狩り26.2% (17人)、その他26.2% (17人)、ドライブ23.1% (15人)、飲食20.0% (13人)、産地直売品・お土産10.8% (7人)の順であった。その他に対する記述(8人)は、ツーリング4人、墓参り3人、ゴルフ2人、旅行2人、きのこ狩り1人、松茸1人、山村留学1人、宿場1人、ハイキング1人であった。

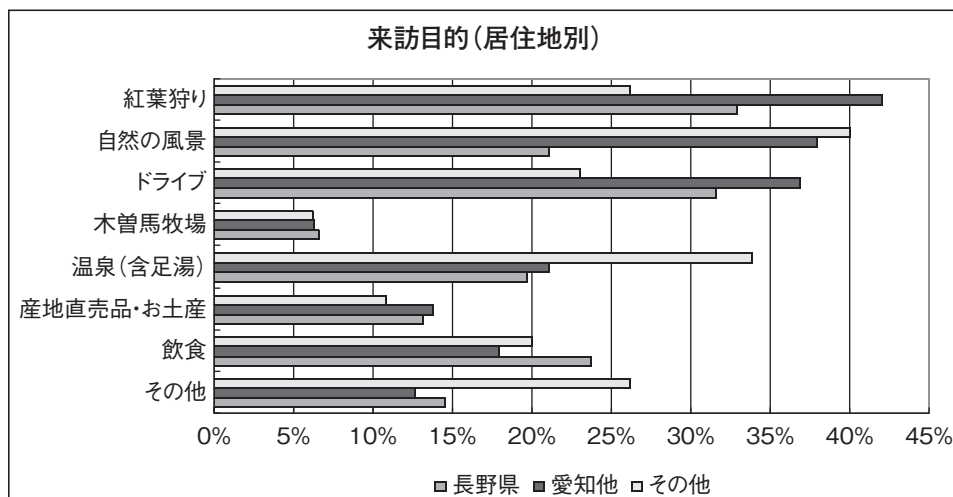


図9. 木曾福島地区を来訪した目的

## 2-6 今回の旅行で訪れた、または訪れる予定の場所

今回の旅行で訪れた場所(訪れる予定の場所を含む)(5つまで解答可)に対する単純集計の結果を表3に示す。

順位	項目	度数	%	順位	項目	度数	%
1	開田高原(含九蔵峠展望台)	83	34.7%	16	赤沢自然休養林	13	5.4%
2	御嶽山	36	15.1%	17	福島関所	11	4.6%
3	日義木曾高原道の駅	30	12.6%	18	彩菜館	10	4.2%
4	奈良井宿	29	12.1%	19	義仲館	9	3.8%
5	木曾馬の里	29	12.1%	20	やぶはら高原	6	2.5%
6	その他	28	11.7%	21	ふるさと体験館きそふくしま	6	2.5%
7	妻籠宿	27	11.3%	22	平沢漆器街	5	2.1%
8	やまゆり荘	24	10.0%	23	上の段の街並み	5	2.1%
9	馬籠宿(藤村記念館)	21	8.8%	24	興禅寺	5	2.1%
10	道の駅大桑(木楽舎)	20	8.4%	25	桃介橋	5	2.1%
11	寝覚の床	19	7.9%	26	藪原宿	3	1.3%
12	木曾くらしの工芸館	18	7.5%	27	定勝寺	3	1.3%
13	山村代官屋敷	14	5.9%	28	鳥居峠	2	0.8%
14	道の駅三岳	14	5.9%	29	フォレスパ木曾	2	0.8%
15	木曾駒高原	13	5.4%		合計	285	119.2%

表3. 今回の旅行で訪れる場所(予定を含む)

10位までに、

- (1) 御嶽山とその周辺：開田高原(含九蔵峠展望台)(第1位83人, 34.7%), 御嶽山(第2位36人, 15.1%), 木曾馬の里(第5位29人, 12.1%)
- (2) 道の駅：日義木曾駒高原道の駅(第3位30人, 12.6%), 道の駅大桑(木楽舎)(第10位20人, 8.8%)
- (3) 宿場町：奈良井宿(第4位29人, 12.1%), 妻籠宿(第7位27人, 11.3%), 馬籠宿(藤村記念館)(第9位21人, 8.8%)
- (4) 温泉施設：やまゆり荘(第8位24人, 10.0%)

が含まれている。

居住地別に集計した結果(図10参照)では、長野県からの来訪者は、開田高原(含九蔵峠展望台) 25.0%(19人)、木曾暮らしの工芸館と日義木曾駒高原道の駅が共に17.1%(13人)、その他11.8%(9人)、やまゆり荘10.5%(8人)、山村代官屋敷9.2%(7人)、木曾馬の里9.2%(7人)、奈良井宿7.9%(6人)の順となっている。その他には、「木曾の棧(かけはし)」、「地蔵峠」、「唐沢の滝」、「奈川」、「乗鞍」が挙げられていた。

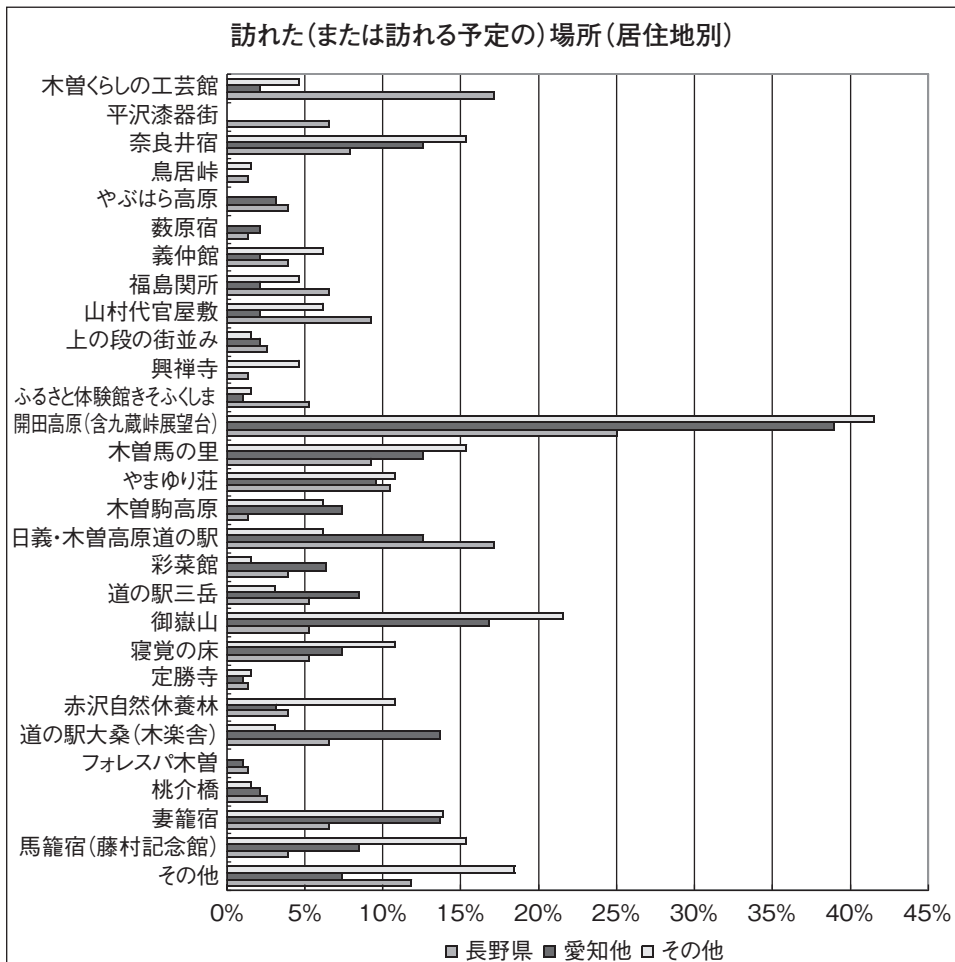


図10. 今回の旅行で訪れた, または訪れる予定の場所

愛知他2県は、開田高原(含九蔵峠展望台)38.9%(37人)、御嶽山16.8%(16人)、道の駅大桑(木楽舎)と妻籠宿がともに13.7%(13人)、日義木曾駒高原道の駅、木曾馬の里および奈良井宿がいずれも12.6%(12人)、やまゆり荘9.5%(9人)、道の駅三岳と馬籠宿(藤村記念館)がともに8.4%(8人)の順となっている。愛知他2県では、単純集計で10位までに入っている2カ所の道の駅、道の駅大桑(木楽舎)と日義木曾駒高原道の駅の他に、道の駅三岳が入ってきている。その他として、「大滝、自然湖(写真)」、「親水公園」、「別荘」が挙げられていた。

その他都道府県は、開田高原(含九蔵峠展望台)41.5%(27人)、御嶽山21.5%(14人)、その他18.5%(12人)、木曾馬の里、奈良井宿および馬籠宿(藤村記念館)がいずれも15.4%(10人)、やまゆり荘、寝覚ノ床および赤沢休養美林10.8%(7人)であった。その他都道府県の上位には道の駅は含まれていない。その他には、「伊那谷」、「上高地・乗鞍」、「木曾カントリーゴルフクラブ」、「下呂温泉」、「野麦峠」、「山のくじら家さん」が記述されていた。

### 2-7 情報収集の方法と求める地域情報

現在地(木曾福島地区または開田高原)に関する情報収集手段(3つまで選択)は、単純集計では以前に来た(93人, 38.9%)、沿道の看板(32人, 13.4%)、観光パンフレット(27人, 11.3%)、インターネット(24人, 10.0%)、ガイドブックとここではじめてがともに(21人, 8.8%)、その他(20人, 8.4%)、口コミ(15人, 6.3%)の順であった。

居住地域別の集計結果を図11に示す。長野県内からの来訪者は、以前に来た40.8%(31人)、沿道の看板15.8%(12人)、観光パンフレット10.5%(8人)、ここではじめてとその他がともに7.9%(6人)、インターネットとガイドブックがともに6.6%(5人)の順であった。その他(6人)を記述した人は、「地元」、「家族」、「知っていた」、「知人」から各1人で、以前に来た、または口コミに分類できる内容であった。

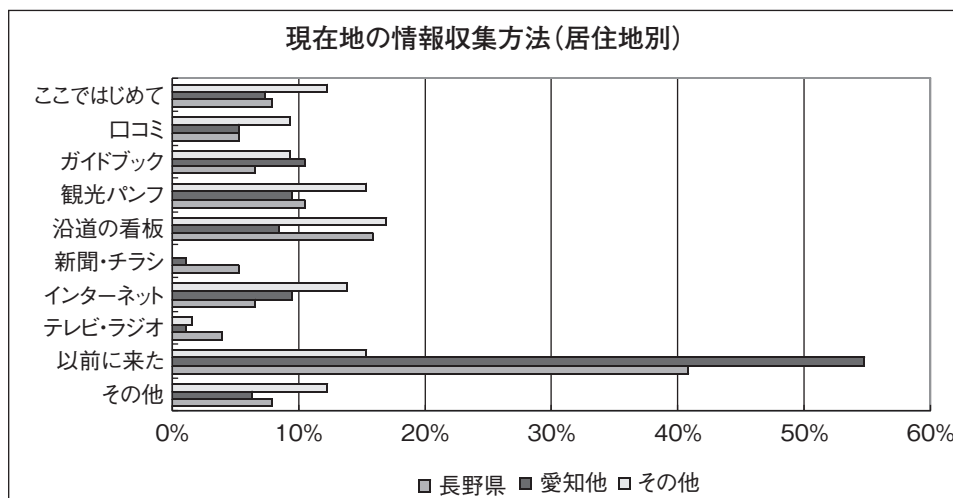


図11. 木曾福島地区の情報収集手段

愛知他2県は、以前に来た54.7% (52人)、ガイドブック10.5% (10人)、観光パンフレットとインターネットがともに9.5% (9人)、沿道の看板8.4% (8人)、ここではじめて7.4% (7人)、その他6.3% (6人)の順であった。その他に対する記述は「実家」、「知人の紹介」各1人であった。

その他都道府県は、沿道の看板16.9% (11人)、以前に来たと観光パンフレットがともに15.4% (10人)、インターネット13.8% (9人)、ここではじめてとその他がともに12.3% (8人)、口コミとガイドブックがともに9.2% (6人)の順であった。その他に対する記述は、「友人(の話)」2人、「昔から知っている」、「同伴者に任せた」、「仕事」が各1人であった。

情報収集の手段として、長野県、愛知他2県、その他都道府県のどの居住地域から来訪された方も、「以前に来た」が第1位になっているが、愛知他2県54.7%、長野県40.8%、その他都道府県15.4%と、その他都道府県の比率が最も低い。愛知、静岡、岐阜の近隣3県と長野県内の方が頻繁に木曾を訪れていることがわかる。

「観光パンフレット」がどの居住地でも第3位となっているが、比率はその他都道府県が15.4%で最も高く、長野県と愛知他2県が10%前後を占めている。立ち寄ったお店に木曾福島地区などのパンフレットが置いてあることが役立っているかもしれない。

この地域に関するほしい情報を単純集計した結果は、食事の楽しめる場所(113人、47.3%)、温泉施設(90人、37.7%)、季節のイベントや催し(70人、29.3%)、自然にふれあえる場所(69人、28.9%)、農産物直売所(61人、25.5%)、ドライブコース・道路(54人、22.6%)の順であった。

居住地別に集計した結果を図12に示す。長野県は、温泉施設39.5% (30人)、食事の楽しめる場所35.5% (27人)、季節のイベントや催し34.2% (26人)、自然にふれあえる場所28.9% (22人)、農産物直売所22.4% (17人)、ドライブコース11.8% (9人)の順になっている。

愛知他2県は、食事の楽しめる場所52.6% (50人)、温泉施設38.9% (37人)、季節のイベントや催し32.6% (31人)、自然にふれあえる場所29.5% (28人)、農産物直売所28.4% (27人)、ドライブコース26.3% (25人)の順になっている。

その他都道府県は、食事の楽しめる場所53.8% (35人)、温泉施設33.8% (22人)、自然にふれあえる場所29.2% (19人)、ドライブコース27.7% (18人)、農産物直売所24.6% (16人)、季節のイベントや催し18.5% (12人)の順になっている。

「食事の楽しめる場所」(単純集計第1位)は、愛知他2県及びその他都道府県で第1位となり、いずれも50%を超え、長野県よりも15ポイント以上高くなっている。「温泉施設」(単純集計第2位)はどの居住地域でも30%を超えている。また、「ドライブコース」に関しては長野県外の2地域の比率は25%を超え、長野県よりも10ポイント以上高くなっている。

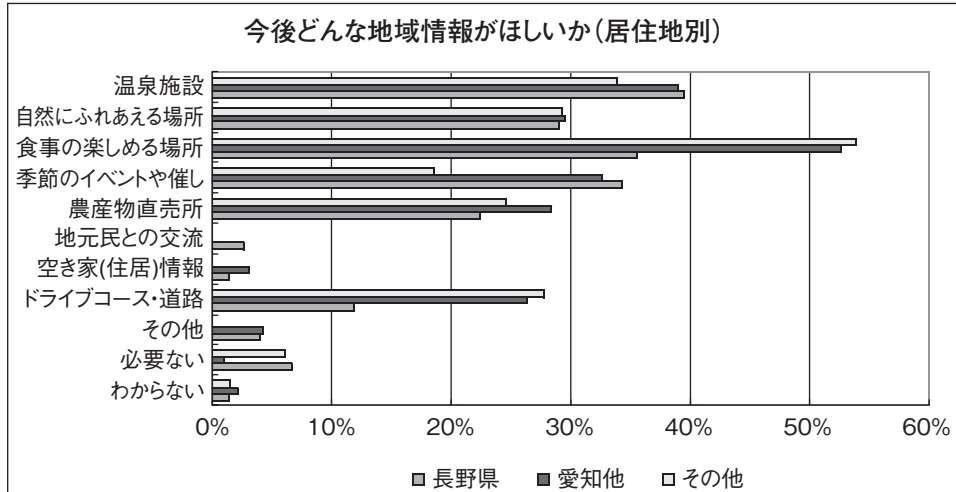


図12. この地域に関するほしい情報

## 2-8 旅行予算とお土産代

旅費と宿泊費を除く旅行の一人当たりの予算を図13に示す。図2の旅行日程のグラフからわかるように、長野県内からの来訪者、愛知他2県からの来訪者、その他都府県からの来訪者の順に宿泊を伴う割合が高くなっている。さらに、その他都道府県の方が愛知他2県よりも連泊する比率が高い。これらの旅行日程を反映して、長野県内、愛知他2県、その他都府県の順に旅行予算が増加していると考えられる。

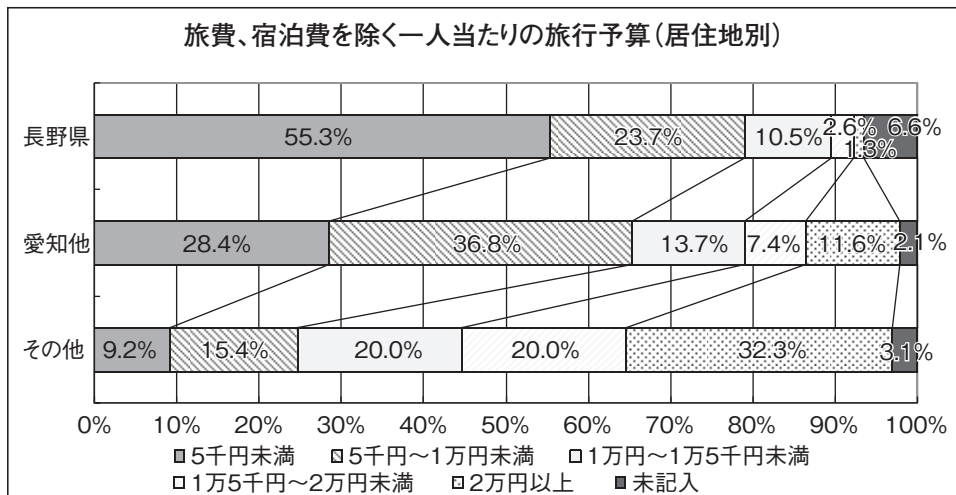


図13. 旅費、宿泊費を除いた旅行の予算

旅費と宿泊費を除く旅行の一人当たりの予算の中に含まれる、お土産代の集計結果を図14に示す。長野県内からの来訪者は、2千円未満43.4%(33人)、2千円以上4千円未満38.2%(29人)と4千円未満が81.6%を占め、4千円以上は7.9%(6人)となっている。

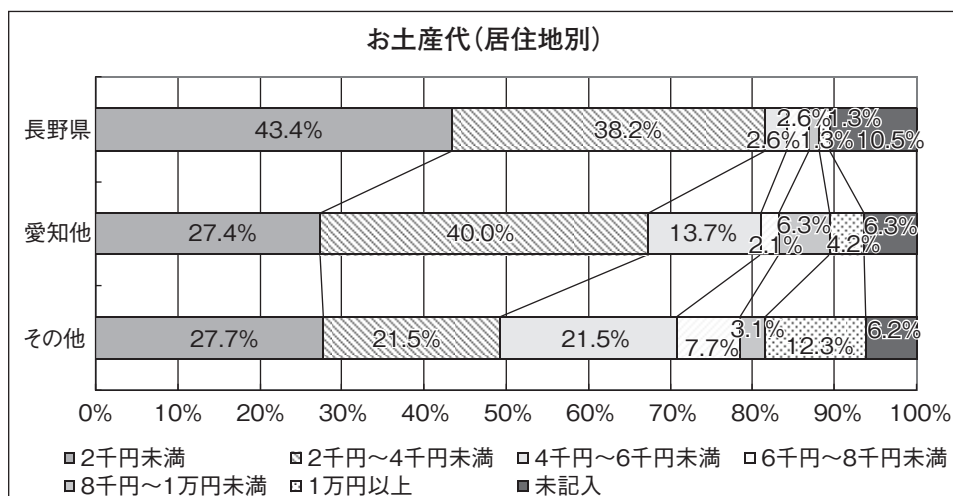


図14. お土産代

愛知他2県からの来訪者は、2千円未満27.4% (26人)、2千円以上4千円未満40.0% (38人)と4千円未満が67.4%を占め、4千円以上は26.0% (25人)であった。その他都道府県からの来訪者は、2千円未満27.4% (18人)、2千円以上4千円未満21.5% (14人)と4千円未満が51.6%を占め、4千円以上は44.6% (29人)であった。長野県外からの来訪者の方が県内からの来訪者よりもお土産代は多いようだ。

### 2-9 お土産として購入したものと探しているもの

木曽地域を訪れる観光客がどのようなものをお土産品として求めているかを知るために、購入したお土産品とお土産としてどんなものを探しているかについて記述していただいた。購入したお土産品を表4aに挙げる。

お土産として購入したもののの中に、「野菜」、「きのこ」、「蕎麦」、「りんご」、「漬物」など地場の農産物、「蕎麦まんじゅう」、「栗きんとん」、「栗子餅」等のお菓子類、「漆器」、「箸」、「小六ぐし」等の特産品、「御嶽百草丸」などが挙げられている。

お土産として探しているものを表4bに挙げる。長野県は、「きのこ」6、「特産品」2(木曽っぼいもの1を加えると3)、「蕎麦」2、「野菜」2、「和菓子」2の順になっている。

愛知他2県は、「特産品(名産品を含む)」9、「野菜」6、「おいしいもの」4、「お菓子」2、「果物」2、「蕎麦」2、「漬物」2、「松茸」2の順となっている。

その他都道府県では、「特産品(名産品を含む)」5、「おいしいもの」3、「お菓子」3、「松茸」3、「野菜」2の順となっている。

いずれの地域からの来訪者も「特産品」、さらに県外からの来訪者は「おいしいもの」が多数挙げられていた。これらの表現で、表4aに挙げられているものでもよく知られていないもの、または、表4aには含まれていない、<木曽らしい何か>を探し求めていることを表しているのかもしれない。

長野県		愛知他2県		その他都道府県	
品目	度数	品目	度数	品目	度数
きのこ	7	野菜	23	りんご	9
蕎麦	5	蕎麦	19	きのこ	5
栗	4	りんご	7	そばまんじゅう	5
野菜	4	漬物	6	野菜	5
栗子餅	3	きのこ	5	漬物	4
漆器	3	箸	4	栗きんとん	3
御嶽百草丸	3	味噌	4	蕎麦	3
甘酒	2	アイスクリーム	3	馬のキーホルダ	1
お菓子	2	お菓子	3	漆	1
五平餅	2	酒	3	お菓子	1
箸	2	果物	2	おたふく豆	1
ヨーグルト	2	栗きんとん	2	お茶	1
御岳もなか	1	栗子餅	2	キーホルダ	1
栗きんとん	1	せんべい	2	巨峰	1
ケーキetc	1	御嶽百草丸	2	草もち	1
ゴーフレット	1	まんじゅう	2	栗	1
コロッケ	1	ヨーグルト	2	栗子餅	1
霜降り(牛肉)	1	器	1	五平餅	1
ストラップ	1	カステラ	1	酒	1
せんべい	1	雷島の里	1	チーズ	1
そば粉	1	栗	1	チーズケーキ	1
栃の実せんべい	1	栗饅頭	1	納豆	1
飲むヨーグルト	1	くるみ	1	七笑い粕漬け	1
ブルーベリー	1	ゴーフレット	1	日本酒	1
干し梅	1	五平餅	1	農産物	1
まんじゅう	1	米	1	野沢菜	1
名物味噌	1	産直品	1	白菜	1
		椎茸	1	蜂蜜	1
		ジャム	1	膝掛け	1
		小六ぐし	1	百草丸飴	1
		食器	1	ふりかけ	1
		白樺の大地	1	フルーツ	1
		蕎麦茶	1	ポーチ	1
		そばまんじゅう	1	松茸	1
		大福もち	1	まんじゅう	1
		チーズケーキ	1	味噌	1
		とうもろこし	1	めんつゆ	1
		とんかつソース	1	御嶽百草丸	1
		野沢菜	1	ヨーグルト	1
		飲むヨーグルト	1		
		パイ	1		
		白菜	1		
		花	1		
		パン	1		
		弁当箱	1		
		松茸ご飯	1		
		山栗	1		
		ラーメン	1		

表4a. お土産として購入したもの



長野県		愛知他2県		その他都道府県	
品目	度数	品目	度数	品目	度数
きのこ	6	特産品	9	特産品	5
蕎麦	2	野菜	6	おいしいもの	3
特産品	2	おいしいもの	4	お菓子	3
野菜	2	お菓子	2	松茸	3
和菓子	2	果物	2	野菜	2
うまそうな物	1	蕎麦	2	おやき	1
お菓子	1	漬物	2	きのこ	1
季節もの	1	松茸	2	巨峰	1
木曾っばいもの	1	秋の味覚	1	栗きんとん	1
五平餅	1	栗子餅	1	五平餅	1
酒	1	栗ようかん	1	地酒	1
笹もち	1	くるみ	1	漆器の雑貨	1
漆器	1	スイーツ	1	地元の食材	1
地元の食材	1	肉	1	地元のもの	1
蕎麦饅頭	1	箸	1	ソーセージ	1
つけのくし	1			蕎麦	1
漬物	1			そば粉	1
つまみ系の食べ物	1			そばまんじゅう	1
手作り味噌	1			漬物	1
農産物	1			日持ちするもの	1
鉢植え	1			木工品	1
曲げわっぱ	1			りんご	1
民芸	1			りんごキャラメル	1

表4b. お土産として探しているもの

お土産品がどこで製造されたか(製造元)を調べた上で購入するかの問いに対する集計結果を図15に示す。注意する(はい)と答えた人は、長野県とその他都道府県では約32ポイント、愛知他2県では約43ポイントと他の2地域よりも14ポイントほど高くなっている。

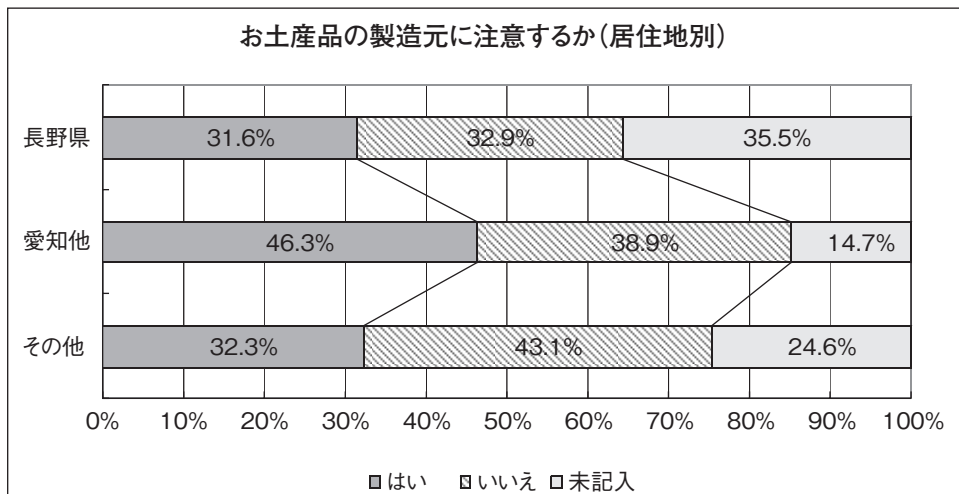


図15. お土産品の製造元

製造元に注意するかの答えに対する理由を表5に示す。

はいの理由		
長野県	愛知他2県	其他都道府県
味	あるメーカーでは全国にパッケージを変えて売っている。そんな食品やお菓子が大多数なので	安心
安心できる	安全性	安全性を確認したいから
県外の人にお土産を持参したいから	川上屋	ご当地のいいなあ~と思うから
国産かどうか…	国産が安心だから	産直がほしい
地元のがよい	この土地のものがいいから	地元のもの
地物が買いたい	地元産	全然かけ離れたところで作られたものを買うのはいや
製造元を知りたいから	地元産であるか	その土地で作られたものか
本物がほしい	地元のものがほしい	地産のものがほしい
	地元のものだから	長野のものがほしい
	食のこだわり、土地の品	
	中国産は嫌だ	
	中国産は嫌だ	
	長野県産のもの	
	みはらし農場	
	名産品	

いいえの理由		
長野県	愛知他2県	其他都道府県
こだわらない	地元であれば	製造元の情報がないため

表5. 製造元に注意する(はい), またはしない(いいえ)に対する理由

## 2-10 おいしかったもの

木曽地域で飲食してみてもおいしかったもの(5つまで選択)を単純集計した結果は、第1位アイスクリーム(98人, 41.5%), 第2位とうじそば(64人, 27.1%), 第3位その他(46人, 19.5%), 第4位エゴマの五平餅(37人, 15.7%), 第6位とうもろこし(29人, 12.3%), 第7位きのご鍋とそばまんじゅう(27人, 11.4%), 第9位赤かぶ漬け(22人, 9.3%), 第10位栗こもち(17人, 7.2%)の順であった。

居住地域別に集計した結果を図16に示す。長野県は、第1位とうじそばとアイスクリーム28.9%(22人), 第3位すんきそば18.4%(22人), 第4位栗こもち11.8%(17人), 第5位エゴマの五平餅10.5%(8人), 第6位赤かぶ漬け, ほおば巻きとその他9.2%(7人), 第9位きのご鍋, とうもろこし, そばまんじゅう7.9%(6人)の順であった。

愛知他2県では、第1位アイスクリーム54.7%(52人), 第2位とうじそば27.4%(26人), 第3位その他25.3%(24人), 第4位エゴマの五平餅23.2%(22人), 第5位そばまんじゅう17.9%(17人), 第6位とうもろこし16.8%(16人), 第7位赤かぶ漬け12.6%(12人), 第8位すんきそば11.6%(11人), 第9位きのご鍋10.5%(10人), 第10位栗こもち4.2%(4人)の順であった。

其他都道府県では、第1位アイスクリーム41.5%(24人), 第2位とうじそば24.6%(16人), 第3位その他23.1%(15人), 第4位きのご鍋16.9%(11人), 第5位エゴマの五平餅, とうもろ

こし10.8% (7人), 第7位すんきそば7.7% (5人), 第8位栗こもち, そばまんじゅう6.2% (4人), 第10位赤かぶ漬け4.6% (3人)の順であった

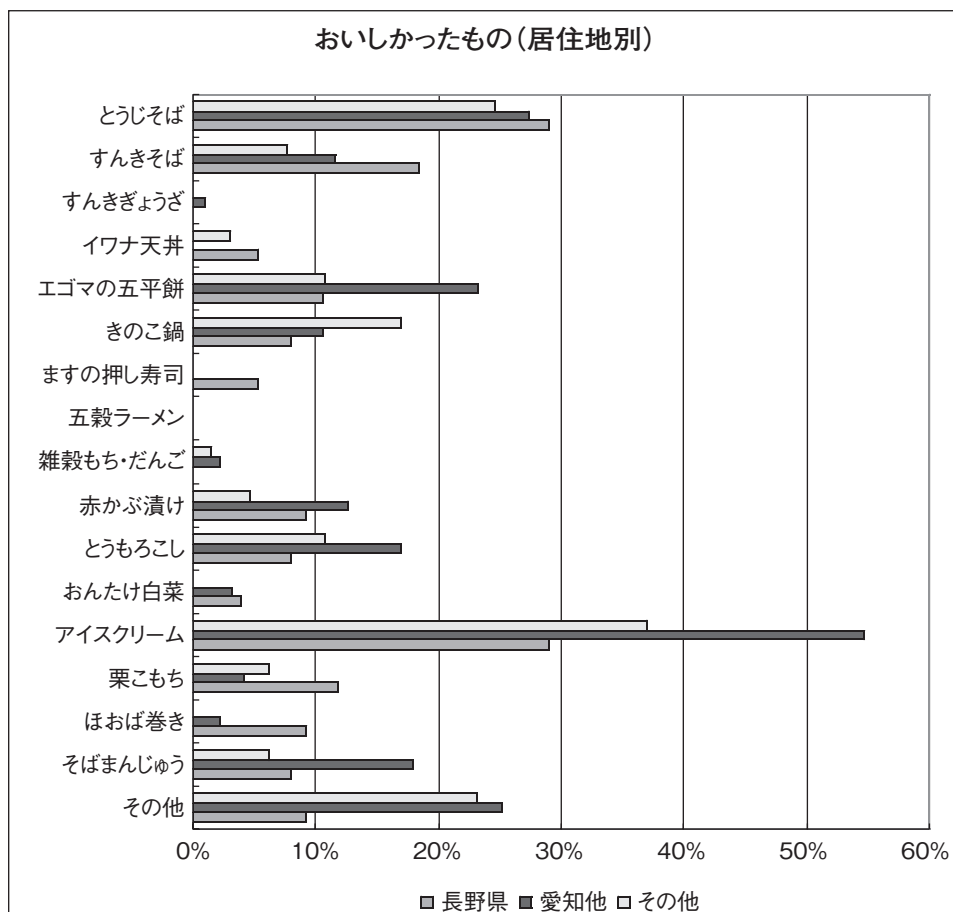


図16. 飲食しておいしかったもの

飲食しておいしかったものの中で、その他に具体的に記述していただいたものを表6に示す。どの居住地の方も蕎麦が一番多くなっている。また、長野県では、牛、牛肉コロッケが1ずつ挙げられている。長野県内からの来訪者にはどこに行ったら食べられるかの情報が少しずつ伝わってきているのかもしれない。

長野県		愛知他2県		その他都道府県	
項目	度数	項目	度数	項目	度数
蕎麦	3	蕎麦	14	蕎麦	9
きのこ汁	1	ざる蕎麦	3	エビフライ	2
牛	1	ソースカツ丼	2	山菜蕎麦	2
牛肉コロッケ	1	おおひら(郷土料理)	1	イノブタ料理	1
五平もち	1	おやき	1	いわな	1
とりの蕎麦	1	栗きんとん	1	カニ	1
		なめこ汁	1	山菜	1
		野沢菜	1	ソフトクリーム	1
		フランクフルト	1	パン	1
		味噌汁	1	マツタケ	1
				焼き鳥	1

表6. 飲食しておいしかったもの、その他に挙げられた品目

他にどんな(食材を使った)料理を食べてみたいですか(記述式質問)に対する回答を表7に示す。どの居住地域からの来訪者も、「蕎麦」、「きのこ料理」、「山菜」に関心がある。それら以外に、長野県では、「木曾牛」1、愛知他2県では、「牛肉(牛肉の料理1を含む)」4、「ステーキ」1、その他都道府県では、「木曾牛串焼き」1、「木曾和牛」1、「牛肉」1が示すように、木曾牛(または牛肉)に対する関心が広まりつつあるようだ。

長野県		愛知他2県		その他都道府県	
項目	度数	項目	度数	項目	度数
蕎麦	8	蕎麦	9	蕎麦	5
山菜	2	きのこ	5	きのこ	4
木曾牛	1	牛肉(牛肉の料理1を含む)	4	きのこ料理	3
きのこ	1	山菜	3	山菜	3
きのこ汁	1	松茸	3	おやき	1
きのこ料理	1	てんぷら	2	木曾牛串焼き	1
栗おこわ	1	温かいうどん	1	木曾和牛	1
酒	1	川魚	1	牛肉	1
ざる蕎麦	1	きのこ汁	1	牛乳	1
山菜など	1	きのこ蕎麦	1	五平もち	1
自然食	1	栗ご飯	1	そばクレープ	1
ほう葉まき	1	米粉とそば粉のクッキー	1	長野産野菜etc	1
マスの押し寿司	1	ざる蕎麦	1	肉料理	1
		ステーキ	1	松茸	1
		漬物	1		
		とうじ蕎麦	1		
		鍋料理(肉類)	1		
		肉料理	1		
		松茸ご飯	1		
		味噌	1		
		りんご	1		

表7. 他にどんな(食材を使った)料理を食べてみたいですかに挙げられた品目

## 2-11 木曽路の印象

木曽路の印象を図17に示す。よい印象を持った人は、愛知他2県、その他都道府県のいずれも80ポイントを超えているが、長野県では県外よりも10ポイントほど低くなっている。

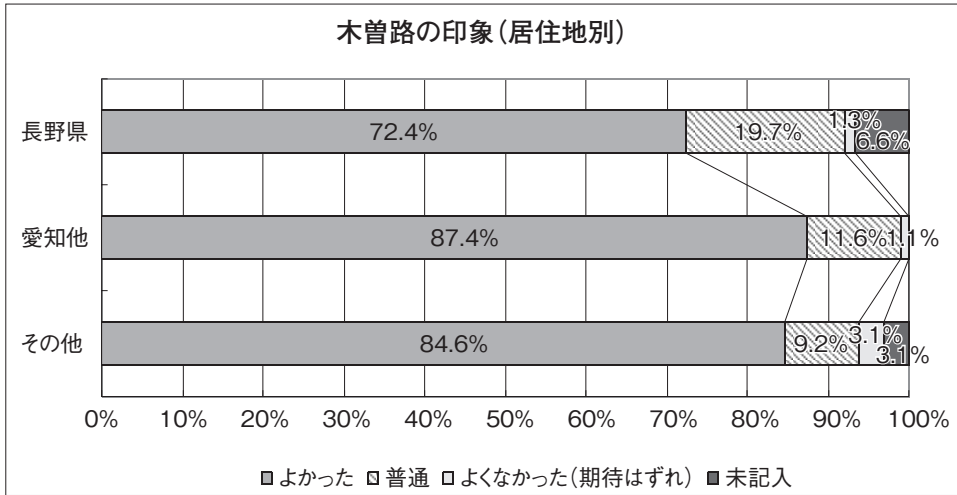


図17. 木曽路の印象

木曽町(木曽福島、開田高原または日義木曽駒高原道の駅)にまた来たいかという問いに関する集計結果を図18に示す。どの居住地域からの来訪者も、是非来たいと機会があれば来たいを合計すると90%を超え、木曽地区には好印象を持っていることがわかる。

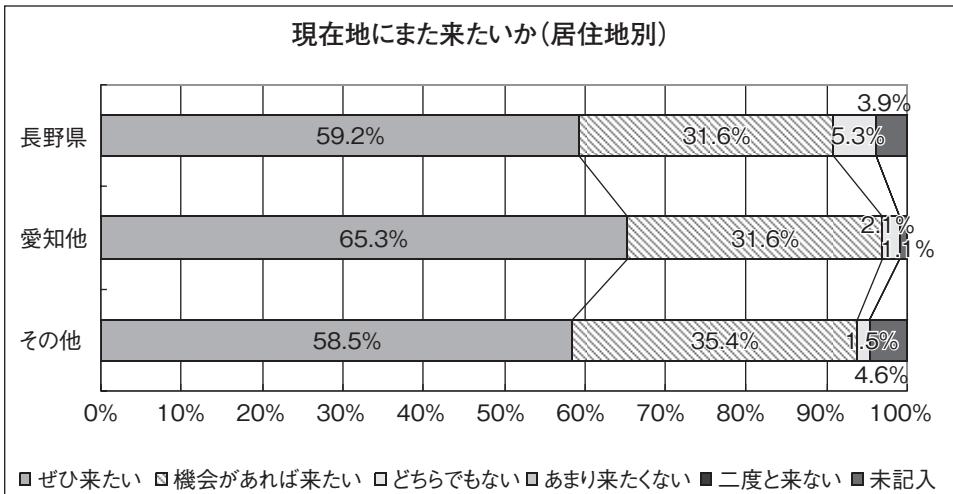


図18. 木曽路にまた来たいか

### 3. 結

木曾福島地区または開田高原を来訪した方に対して2010年10月24日(日)に行ったアンケート調査の結果を、長野県、愛知他2県(愛知、静岡、岐阜)、その他都道府県からの来訪者の3つの居住地域に分けて集計・分析した。

2010年の調査では、居住地別集計で50歳以上の割合は、長野県(76人中)は51.3%(32人)、愛知他2県(95人中)は52.6%(50人)、その他都道府県(65人中)は52.3%(34人)と、どの居住地域からの来訪者もほとんど同じ比率になっている。一方、30歳代以下で比較すると、長野県は23.6%(18人/76人)、愛知他2県は29.4%(28人/95人)、その他都道府県は30.7%(20人/65人)と、県外からの来訪者の方が長野県からの来訪者よりも比率が幾分高くなっている。

今回の旅行での主な立ち寄り先は、長野県からの来訪者は20歳代～70歳代までの方計4人が、愛知他2県からの来訪者は30歳代から70歳代まで計29人の方が、その他都道府県からの来訪者は20歳代から60歳代まで計23人の方が記入して下さった。観光客の行動範囲の広さが窺える(表1a, 1b, 1c参照)。

今回(2010年度)の調査では、来訪回数が6回以上の方は、長野県44.7%(34人)、愛知他2県46.3%(44人)、その他都道府県20.0%(13人)であった。6回以上のリピータは長野県と愛知他2県は40%台で、その他都道府県よりも20ポイント以上高い。また、初めて来訪した方は、長野県19.7%(15人)(2回目以下27.6%(21人))、愛知他2県12.6%(12人)(2回目以下30.5%(29人))、その他都道府県35.4%(23人)(2回目以下55.4%(36人))であった。2回目以下の来訪者の比率は愛知他2県が55ポイントを超え、長野県とその他都道府県に20ポイント以上の差をつけている。

木曾福島地区を来訪された方の当地に関する情報入手方法は、「以前に来た」、「沿道の看板」、「観光パンフレット」、「インターネット」、「ガイドブック」、「ここではじめて」、「口コミ」の順になっている。季節の変わり目に、催しもの情報、季節のお菓子や特産物などの情報を観光パンフレットやホームページで紹介することも旅心をそそることに役立っているかもしれない。

この地域でほしい情報は、単純集計では、「食事の楽しめる場所」、「温泉施設」、「季節のイベントや催し」、「自然にふれあえる場所」、「農産物直売所」、「ドライブコース」の順となっている。これらの情報を得るために、観光パンフレットやインターネットが重要な手段となっていることが窺える。

今回の旅行で訪れる場所(予定を含む)は、単純集計で10位までに挙げられている場所は、(1)御嶽山とその周辺、(2)道の駅、(3)宿場町、(4)温泉施設(御嶽山周辺にある)に大別される。以前の「お気に入りの場所」から「訪れる場所(予定を含む)」に質問を変更したことによって道の駅巡りを楽しむ(愛知県他2県方の来訪者が主)人たちがいることが浮かび上がってきた。

お土産として購入したもの(記述式質問)の中に、「野菜」、「きのこ」、「蕎麦」、「りんご」、「漬物」など地場の農産物、「蕎麦まんじゅう」、「栗きんとん」、「栗子餅」等のお菓子類、「漆器」、「箸」、「小六ぐし」等の特産品、「御嶽百草丸」などが挙げられている。

お土産として探しているもの(記述式質問)の中には、「購入したもの」の中に含まれるものが多いが、それら以外に、「特産品(名産品, 木曾っばいものを含む)」17、「おいしいもの」7が目立った。これらの言葉で表現されたものに対して<明確なイメージ>を与えることができる<もの>は何か、それを探ることがこれからの大切な課題の一つではないだろうか。

木曾地域で飲食してみておいしかったもの(5つまで選択)に対しては、「アイスクリーム」、「とうじそば」、「エゴマの五平餅」、「とうもろこし」、「きのご鍋」、「そばまんじゅう」、「赤かぶ漬け」、「栗こもち」等が挙げられている。

お土産の製造元に注意するかに対する結果は、はい37.7%、いいえ38.1%で、「はい」と「いいえ」の比率はほとんど変わらなかった。この結果は、よいものはどこで製造されたものでもよい、という気持ちの表れだろうか。

この調査に参加した学生は、当時松本大学総合経営学部3年生6名(安藤寿紀, 奥原由香, 鈴木陽一, 本間亜由美, 百瀬貴文, 山下斐), 2年生9名(伊東一寛, 牛山一樹, 奥原亮太, 久保田諒介, 小松皓祐, 清水裕太, 花村裕太, 森山綾子, 渡辺詩織)であった。

## 謝辞

木曾町の特産品や地産地消運動などについて、ベンションJ-HOUSEを経営されている松井淳一氏から貴重なご意見を伺うことができ、その一部は2010年度の調査票を作成する際にも生かすことができました。木曾町における調査活動にご協力いただいた松井氏に感謝いたします。

2010年度の調査を行う際にも、前年度同様、木曾町企画財政課まちづくり係の方々に協力して頂きました。この場を借りて感謝いたします。

アンケート調査(木曾福島地区、開田高原、日義・木曾駒高原道の駅を訪れた方対象)

□Q0 調査地点：木曾福島地区(①足湯、②上の段、③代官屋敷) ④開田高原 ⑤日義道の駅

□Q1 お住まい(ご自宅)はどちらですか

①都道府県 1)長野県 2)愛知県 3)岐阜県 4)静岡県 5)その他( ) 都・道・府・県)  
②市町村 ( ) 市・町・村)

□Q2 ①性別と②年齢を教えてください

①性別 1)男 2)女  
②年齢 1)20歳未満 2)20歳代 3)30歳代 4)40歳代 5)50歳代  
6)60歳代 7)70歳以上

□Q3 ①今回の旅行日程、②今日はその何日目か、③今回の観光コースを教えてください

①1)日帰り 2)1泊2日 3)2泊3日 4)3泊4日 5)4泊5日以上  
②( )日目  
③観光コース：1日目( )→2日目( )  
→3日目( )→4日目以降( )

□Q4 現在地(福島地区、開田高原、または日義道の駅)で何時間ぐらい過ごされますか

1)30分未満 2)1時間未満 3)1時間以上～2時間未満  
4)2時間以上～3時間未満 5)3時間以上～4時間未満 6)4時間以上

□Q5 どなたと旅行されていますか

1)単独 2)友人知人 3)家族(子連れ) 4)家族(大人のみ) 5)夫婦  
6)カップル(未婚) 7)職場団体 8)ツアー団体 9)その他( )

□Q6 主な交通手段は何ですか

1)マイカー 2)バイク 3)自転車 4)観光バス 5)鉄道(JR) 6)中央高速バス  
7)タクシー 8)その他( )

□Q7 今回の旅行で(木曾谷と伊那谷を結ぶ)権兵衛トンネルを利用されるかおたずねします

①権兵衛トンネルを通ってきましたか 1)はい 2)いいえ  
②権兵衛トンネルをこれから通る予定ですか 1)はい 2)いいえ

□Q8 現在地(木曾福島、開田高原、または日義道の駅)に今までに何回来たことがありますか

1)はじめて 2)2回目 3)3～5回目 4)6～9回目 5)10回以上

□Q9 木曾町を訪れた目的は何ですか(3つまで選んでください)

観光(①紅葉狩り、②自然の風景、③ドライブ、④木曾馬牧場) ⑤温泉(足湯も含む)  
⑥産地直売品・おみやげ ⑦飲食( )⑧その他( )

□Q10 今回の旅行で訪れた(訪れる予定の)場所を教えてください(5つまで選んでください)。

1)木曾くらしの工芸館(道の駅ならかわ) 2)平沢漆器街 3)奈良井宿 4)鳥居峠  
5)やぶはら高原(こだまの森) 6)藪原宿 7)義仲館 8)福島関所  
9)山村代官屋敷 10)上の段の街並み 11)興禅寺 12)ふるさと体験館きそふくしま  
13)開田高原(九蔵峠展望台を含む) 14)木曾馬の里 15)やまゆり荘 16)木曾駒高原  
17)日義・木曾駒高原道の駅 18)彩葉館 19)道の駅三岳 20)御嶽山  
21)寝覚の床 22)定勝寺 23)赤沢自然休養林 24)道の駅大桑(木楽舎)  
25)フォレスバ木曾 26)桃介橋 27)妻籠宿 28)馬籠宿(藤村記念館)  
29)その他( )



Q11 どこで現在地(木曾福島, 開田高原, または日義道の駅)の情報を集めましたか(3つまで)

- 1)ここに来てはじめて知った 2)口コミ 3)ガイドブック 4)観光パンフ 5)道沿いの看板  
6)新聞・チラシ 7)インターネット 8)テレビ・ラジオ 9)以前来た 10)その他( )

Q12 今後この地域のどんな地域情報がほしいですか(3つまで選んでください)

- 1)温泉施設 2)自然にふれあえる場所 3)食事の楽しめる場所 4)季節のイベントや催し  
5)農産物直売所 6)地元民との交流 7)空き家(移住)情報 8)ドライブコース・道路  
9)その他( ) 10)必要ない 11)わからない

Q13a 今回の旅行で(旅費, 宿泊費を除く)予算は1人当たり大体いくらですか

- 1)5千円未満 2)5千円~1万円未満 3)1万円~1万5千円未満  
4)1万5千円~2万円未満 5)2万円以上

Q13b そのうち, お土産代はいくらくらいですか

- 1)2千円未満 2)2千円~4千円未満 3)4千円~6千円未満  
4)6千円~8千円未満 5)8千円~1万円未満6)1万円以上

Q14a お土産に何を買いましたか( )

Q14b お土産にどんなものを探していますか( )

Q14c おみやげの製造元(どこで製造されたか)を調べた上で買いますか

- 1)はい 2)いいえ 理由( )

Q15a この地域で食べたもので, 何がおしかったですか(5つまで選んでください)

- 1)とうじそば 2)すんきそば 3)すんきぎょうざ 4)イワナ天丼  
5)エゴマの五平もち 6)きのこ鍋 7)ますの押し寿司 8)五穀ラーメン  
9)雑穀もち・だんご 10)赤カブ漬け 11)とうもろこし 12)おんたけ白菜  
13)アイスクリーム 14)栗こもち 15)ほおば巻き 16)その他( )

Q15b この地域で, ほかにどんなもの(どんな食材を使った料理)を食べてみたいですか?

( )

Q16 木曾路の印象はいかがですか

- 1)良かった 2)普通 3)良くなかった(期待はずれ)→理由( )

Q17 あなたは, また現在地(木曾福島, 開田高原, または日義道の駅)に来たいと思いますか

- 1)ぜひ来たい 2)機会があれば来たい 3)どちらでもない 4)あまり来たくない  
5)二度と来ない

このアンケート調査は木曾地域の振興に皆様のご意見を反映するために行うものです。その目的以外には使用いたしません。

ご協力ありがとうございました。